

附属支部は、附属小学校・附属中学校でそれぞれ情報教育の研究及び研修を行っている。ここでは、主に附属中学校の取組を紹介する。

1 本校の携帯情報端末について

本校では、2010年度より、携帯情報端末（iPad）が全教職員に配付されている。生徒用の携帯情報端末（iPad2）は、40名の生徒が一斉に授業で使えるように20台・40台セットの2組を用意し、授業での効果的な活用を模索している。また、ICT活用に向けた取組として、教室用PC（Mac mini）やネットワーク接続における情報共有（校内LAN、無線LAN、グループウェアの利用）教材用アプリの効果的な活用について各教科で研究している。

2 授業での携帯情報端末（iPad）の活用について

各教科の授業において、積極的に携帯情報端末を活用している。今年度も全ての教科と学級活動、総合的な学習の時間で活用した。ここでは、数学科・保健体育科・総合的な学習での活用事例を紹介する。

(1) 数学科での活用

2年の図形学習で「GC/html5」を活用した授業を行った。生徒は、画面上のドラッグ操作で点の移動を行い、図形を変形したり、角度を調べたりすることができた。変形の様子が容易に確認できるので紙面上にかくよりもイメージが湧きやすく理解が深まった。



GC/html5



活動の様子

(2) 保健体育科での活用

保健体育科では、マット運動・ダンス・器械運動の領域で模範演技をまとめておき、活動の前に生徒が確認したり、活動を振り返るときに動画を活用する取組を行っている。



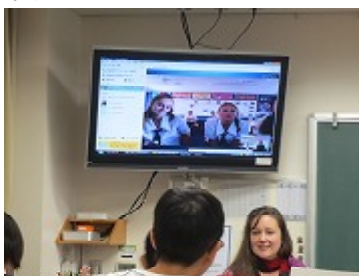
試技の撮影



試技をフィードバック

3 総合的な学習（探究）での情報機器の活用について

総合的な学習の時間で国際交流を行うためにSkypeを利用した取組を行っている。生徒はリアルタイムでオーストラリアと交信することで緊張もあったが、直接対話できるため、充実感に満ちていた。



Skypeの画面



スピーチをしている様子

4 今後の課題

- (1) 教材用アプリの効果的な活用の在り方
- (2) 情報端末における生徒の考えを共有する方法
- (3) 情報モラルやセキュリティに関する研修の充実